

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	武雄市立山内西小学校
-----	------------

1 前年度 評価結果の概要	①知的な学校【知的好奇心の育成】について ・学力向上対策評価シートを活用して、児童の実態を基にした授業改善策を全職員で共通理解するとともに、「授業づくり123」も活用しながら全職員で共通実践ができた。次年度は、授業の「まとも」や「振り返り」を充実させて自己の成長を自覚させるとともに、「毎日の授業がよくわからない」と回答した児童に対する個別の指導・支援や家庭学習への取組を充実させ、学力の底上げを図っていききたい。 ②居心地の良い学校【自己肯定感の育成】について ・「山内合言葉」の日常的な唱和、「思いやりの木」プロジェクトの年間を通した取組、人権週間・平和週間の取組を行ったことで、児童アンケートにおいて「学校が楽しい」と回答した児童が91%、「自分や友達のことを大切に思っていて行動している」と回答した児童が94%に達した。今年度の取組内容の意義を全職員で確認するとともに、児童に対しては学校行事の目的やそこで培った力を自覚させる活動を工夫して、次年度も全職員で共通理解のもと教育活動を展開していききたい。 ③元気な学校【挑戦心の育成】について ・運動会、走ろう大会等の体育的行事を工夫し、児童の体力向上を図ることができた。また、給食委員会の活動や栄養教諭とのチーム・ティーチングによる授業を実施したことで、「健康に食事は大切である」と考える児童が98%に達した。今年度の取組内容の意義を全職員で確認し、次年度も共通理解を図りながら、継続的に体力向上や健康な食習慣の定着を図っていききたい。
------------------	--

2 学校教育目標	やる気いっぱい 笑顔いっぱい 元気いっぱい 輝く山内西の子
----------	-------------------------------

3 本年度の重点目標	①全職員の共通実践を通じた教職員の資質向上 ②人権教育の更なる充実による児童の自己肯定感の育成 ③体育的行事の工夫による児童の健康・体力づくりの向上
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●心の教育	●児童が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、自主性など、豊かな心を育む教育活動 ●いじめの早期発見、早期対応体制の充実 ○特別活動との関連を意識した道徳科の授業実践	○「自分や相手が大切だ」と思う児童を85%以上にする。 ○気持ちのよい挨拶や返事・言葉遣いを意識して行動できる児童を（自己評価）85%以上にする。 ○「やまうち合言葉」の「優しい言葉を周りの人に」を意識して行動できる児童（自己評価）を90%以上にする。 ○職員アンケートで「特別活動との関連を意識した授業を実施できた」と思う職員を90%以上にする。	・歓迎遠足や運動会等で異学年交流の機会を設け、思いやりのある関わり方を意識させる。 ・人権・同和教育、男女平等教育は全教育課程に位置付け、教育活動の中で子どもと周りの人のつながりや一人ひとりの存在を認め合うようにする。 ・毎月、「教育相談」「いじめアンケート」を実施し、いじめや気になる児童の早期発見・早期対応に努める。 ・校内研究として、各学級で全体研やグループ研を行い、特別活動と関連した道徳科の充実を図るとともに、授業力の向上を図る。 ・定期的にスキルアップ通信を配布し、職員の実践の向上に努める。							
●健康・体づくり	●「安全に関する資質・能力の育成」 ○「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●児童生徒の交通事故を0（ゼロ）にする。 ○「健康に食事は大切である」と考える児童100%を目指す。 ○朝食をとって登校する児童生徒90%以上を目指す。	・各学級で安全教育について指導する。 ・集団登校の重点指導期間を設定するとともに、交通ルールなど定期的に全校児童で確認する。 ・自転車点検のお願いを年2回行い、安全な自転車に乗るようにする。 ・長期休業前には、くらしの話をしたり、地区児童会をしたりして、安全な過ごし方を意識させる。 ・各学級での食育指導を行い、食事の必要性に気付かせる。 ・給食時間の放送を通して、食材の産地や調理方法に関心をもち、食事の大切さに気付かせる。							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減 ○「コミュニティ・スクール」及び「官民一体型学校」としての開かれた学校づくり	●時間外在校等時間の上限を遵守し、職員アンケートで「勤務時間の上限を超えない範囲で業務を遂行できた」と回答する割合を90%以上にする。 ○保護者アンケートで「開かれた学校づくりに努めている」の肯定的な回答を90%以上にする。	・定時退勤日（毎週金曜日）を確実に実施し、18時に施錠する。 ・校務システムを利用して、職員会議等の時間を削減する。 ・地域と連携した教育活動の様子を、学校HPや学校・学級たより等で定期的にかつ積極的に情報発信する。							

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○特別支援教育の充実	○教員の児童理解と支援力の向上	○職員アンケートで特別支援教育に関する児童理解と支援力が向上した教師80%以上を目指す。	・特別支援教育に関する研修会を実施する。 ・ケース会議の開催、連絡会による情報共有をする。							

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--